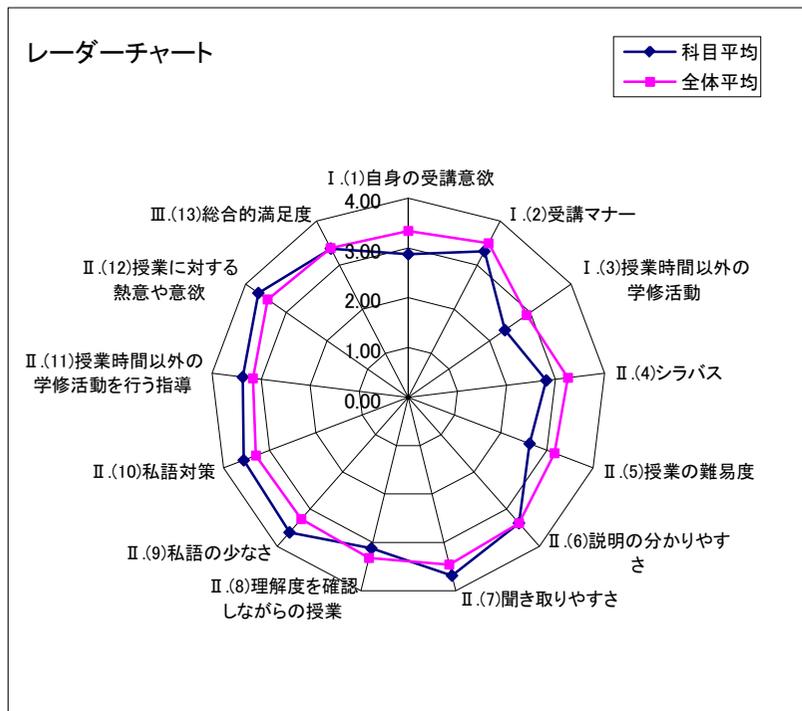
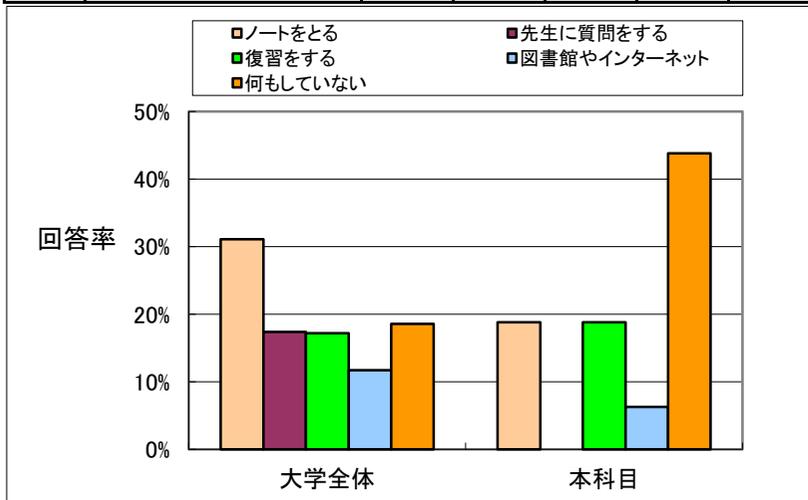


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(14) 授業を理解するための工夫	18.8	0.0	18.8	6.3	43.8



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	2.88	3.34
	I.(2)	3.31	3.49
	I.(3)	2.38	2.91
講義内容・方法	II.(4)	2.81	3.26
	II.(5)	2.63	3.16
	II.(6)	3.38	3.38
	II.(7)	3.69	3.46
	II.(8)	3.13	3.32
	II.(9)	3.63	3.27
	II.(10)	3.56	3.30
	II.(11)	3.38	3.17
	II.(12)	3.69	3.46
	総合評価	III.(13)	3.38

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	2.85	3.25
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.32	3.31
II.(4)~(12)		
総合評価	3.38	3.39
III.(13)		

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2012年度 後期
時間割番号	4113
科目名	日本語コミュニケーションⅡ
教員名	

①授業計画の達成度について

本授業では、文章表現を中心とした授業をおこなった。最初は、実用的な文章を書く練習を行った。基本的な日本語表現のマナーを学ぶことが主であったが、学生たちにとっては経験のない作文であったため、難しいと感じていたようである。また、後半はレポート作成のための客観的・論理的文章を書く練習であったが、これはさらに苦戦していた。アンケートによると、約4割の学生が難しいと感じていた。計画には、時に問題はないが、達成度はあまり高いとはいえない。

②授業の進め方について

座席指定をしており、作業中心の授業であるので、私語は少ない。概ね快適な環境で授業が進められたと感じている。毎時間最初に小テストをするので、遅刻もなく、授業開始前から静かに小テスト勉強をしていた。毎回指名して黒板に解答を書かすので、緊張感をもって授業を受けていた。手書きで文章を書くのが苦手な学生が多いので、板書させるのは一定の効果があったと感じている。8割以上に学生は満足 of 授業だとしているが、それは授業者の説明が分かりやすかった(8割強)だけで、必ずしも学生自身が十分に課題をこなしたということではない。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

想定外のマイナス評価はなかったと認識している。私語対策と授業運営上の必要から座席指定を行っているが、授業アンケートの結果から見て、一定の効果を上げていると思われる。今後も行いたい。但し、前に座ることを希望する学生もるので、柔軟に対応したい。
授業の進度をもう少し緩やかにすることと、難易度をもう少し下げることが今後の課題であるが、現在のレベルで十分な学生もいるので、個人別に教材を変更する工夫が必要である。